



# さらなる飛躍を目指して、力を合わせて気張って！薩摩川内

## 新年あけまして

### おめでとーございませう

本市が誕生してから、早くも3年が過ぎましたが、均衡ある発展と市民福祉の向上を図りながら、本市の将来都市像である「市民が創り市民が育む交流躍動都市」の実現を目指して市政に取り組んでいます。

おかげさまで、市民の皆さまの温かいご支援・ご協力により順調に市政が進展しているところです。心より厚くお礼申し上げます。

## ■本市にとって正念場の年

福田康夫内閣が発足し、格差問題への対応という項目を立て、地方重視の姿勢を示しています。

しかし、今日の地方自治体を取り巻く情勢は大変厳しく、地方分権改革の推進と相まって地方の行政能力が問われている状況にあります。現在、政府の地方分権改革推進委員会でも議論されていますが、地方の法人税や消費税の見直し、交付税制度、道路揮発油税などの暫定税率据え置きなど多くの課題がありますので、その動向を

注視しながら、この「正念場」を乗り越えたいと考えています。

## ■本市のまちづくり

昨年は、地域内の情報格差の是正のための「本土・甌島間の光ファイバー敷設事業」、基幹産業の農業における集落営農組織育成対策や米の需給調整円滑化対策に取り組んだほか、建築物の耐震改修促進計画の策定や都市計画区域および用途地域の見直しにも着手しました。

また、甌島をつなぐ蘭牟田瀬戸架橋の着工式や南九州西回り自動車道「薩摩川内都」インターチェンジの供用開始など、本市の飛躍・発展の礎を築いた年でもありました。

さて本年は、4月から開始される後期高齢者医療制度に伴い、各医療保険者に義務付けられる特定健診・特定保健指導などに対応するため市の組織を見直し、体制を強化するほか、水道使用料について、コンビニに収納する方法など利用者の利便性の向上に努めます。また、九州新幹線の全線開通を3年後に控え、川内港を生かした

観光をはじめ、産業各分野の振興に積極的に取り組むほか、本市のまちづくりの基本となる「自治基本条例」の制定に向け、市内全域の48地区で「まちづくり意見交換会」を開催し、多くの意見を拝聴し条例案に反映させることにしています。

さらには、産業廃棄物管理型最終処分場や川内原子力発電所3号機に係る対応など、多忙な年でもあると考えています。

そのほか、本年10月には本県で「ねんりんピック鹿兒島2008」が開催されます。本市では「弓道・インディアカ・将棋」の3交流大会が行われ、全国から多くの参加者が見込まれます。このことは絶好の機会であり、市民の皆さまとともに本市をアピールしていきたいと考えています。

以上、新年に当たり課題などの一部を述べましたが、本年1年が本市にとりましても平穏な年であることを念じますとともに、市民の皆さまのご多幸を祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。

薩摩川内市長

森 卓朗

里地域のトンボ口 (陸繋砂州)